

医薬品業界の 多種多様なデータの活用を

組織横断型の専門チームで強力に支援

柔軟性の確保

医薬品業界の多種多様なデータの
活用が容易に

議論の変化

データをもとにした議論を行う
文化が広がり無駄な議論が減少

エーザイ株式会社

<https://www.eisai.co.jp/>



業 種：ヘルスケア

従業員数：連結：11,237名、個別：3,005名
(2021年3月末現在)

資本金：449億8,600万円
(2021年3月末現在)

所在地：〒112-8088

東京都文京区小石川4-6-10

事業内容：1941年12月に設立された大手製薬会社。1961年9月に東証一部に上場しており、日経平均株価の構成銘柄にもなっている。企業理念は「患者様とご家族の喜怒哀楽を第一義に考え、そのベネフィット向上に貢献するヒューマン・ヘルスケア (hhc)」。その理念のもと、ヘルスケアへの多様なニーズを充足するための事業活動を展開している。

導入前の課題

データ活用への期待

医薬品業界には治験、製造、営業活動など多様なデータがあり、それらの活用に期待が高まっていた。そのため2017年頃にはTableauの活用も始まっていた。

解決策

データ人材の採用と専門チームの発足

テックスクワッドというデジタル専門チームが発足され、複数の事業部を横断して分析業務を実施する中で、社内のデータ活用を横断的に支援する体制を整備した。

導入後の効果

多種多様なデータを元に議論する文化へ

データ活用に関する社内コンサルティングやTableau活用の研修など、社内のデータ活用を支援することで、多種多様なデータを元に議論する文化が広がっていった。

選定理由

シンプルで使いやすく柔軟性も高い

データをシンプルに可視化でき、操作性も高い点や、多様なデータソースからのデータ取り込みや加工を柔軟に行える点が評価されている。

導入時期：2017年

導入製品：Desktop & Prep 170、Server (Core、個別60、Viewer 100)

主な利用環境：多方面にわたるデータの分析と可視化



お客様プロフィール

お名前：有吉 浩一 様

役職：マネージャー、データエンジニア/データアナリスト

部門名：テックスクワッド

主な担当業務：

社内のデータ分析のコンサルティング。その中でもTableauを用いたコンサルティングが中心。

導入の背景

データ活用を支援するテックスクワッド

ビッグデータに対する期待が大きい製薬業界。膨大な種類の化合物から新薬候補を探し出すプロセスでは、データを紐解くことで開発の高速化と成功確率の向上が可能になると期待されています。また一人ひとりに最適な医療を提供する「個別化医療」の領域では、ヒトゲノムの配列を患者ごとに行うことも欠かせません。さらに、日常の実臨床の中で得られる「リアルワールドデータ」も、医薬品の基礎研究における疾患理解や、医薬品による健康被害リスクの早期発見に役立つと考えられています。

このようなデータ活用を積極的に推進している製薬会社がエーザイ株式会社（以下、エーザイ）です。同社は世界初の抗認知症薬を開発した企業として知られており、認知症領域においては35年以上の経験を有しています。1980年代には「ヒューマン・ヘルスケア (hhc)」を経営理念に掲げ、事業領域も拡大。

近年では「知識創造型経営」にも積極的に取り組んでいます。そのための重要な基盤の1つとなっているのが、Tableauを活用したデータ分析プラットフォームなのです。

「私が入社したのは2020年5月ですが、すでに2017年にはTableauが導入されていたと聞いています」と語るのは、エーザイ テックスクワッドでマネージャーを務め、データエンジニア/データアナリストとして活躍している有吉 浩一 氏。「テックスクワッド」とはヘルスケア領域におけるDXやデータ分析に関する社内コンサルティングも含め、DX推進を行う部署であり、その中でも私はTableauを用いたコンサルティングを中心に活動を展開しています。

「2020年10月に発足したときには3名からスタートしましたが、今では20名近くのスタッフが組織横断的な支援を行っています」。

Q1. Tableau で感動したことは？

A1. 可視化の柔軟性

「可視化の柔軟性の高さです。画面を操作するだけで、表示をスピーディに切り替えていくことができます。同じデータでも見方を変えるだけで、気付きの裾野が広がっていきます」

Q2. Tableau 導入後の変化は？

A2. キャリアの幅の拡大

「Tableau を使いこなせるようになったことで、キャリアの幅が広がりました。データ分析・活用のニーズは特定の業界特有のものではなく、そのスキルは様々な業界で活かせると実感しています」

Tableau 導入・運用環境

大きく3つの領域でTableauを活用

有吉氏がエーザイに採用されたのも、それまでの職歴でデータアナリストやデータアーキテクトの経験を持っていたからでした。すでに前職でもTableauを活用しており、データを活かしたDXを加速できると評価されたのです。テックスクワッドの発足も、このような人材がいたからこそ可能になったと言えるでしょう。

エーザイ全体の取り組みとして、Tableauに関する社内研修にも取り組んでいます。新入社員と希望者を対象に、年に2〜3回の頻度で研修を開催しており、その卒業生はすでに約50名に上っています。このような人材が作成・活用するTableauのワークブックも1,700を超え、一番見られているダッシュボードはデイリーで2万ビューに達しています。

では具体的にどのような活用が行われているのでしょうか。有吉氏は「大きく3つの領域で活用されています」と説明します。

第1は営業活動での活用です。現場マネージャー向けには「担当エリアの競合品シェア」、MR（医療関係者に医薬情報を提供する営業担当者）向けには「担当病院の日々の売上実績」、マネジメント向けには「全国の日々の売上・計画進行確認」といったダッシュボードが提供され、日常的に活用されていると言います。

第2は事業やWebサイトの管理であり、各事業のKPIの可視化や、Webサイト運営に係る各種データの可視化などが行われています。

そして第3がリアルワールドデータの分析です。この領域では、レセプト（診療報酬）データの分析や、パーキンソン病の併存疾患の分析などが行われていると説明します。

Tableau 選定の理由

シンプルで使いやすく柔軟性も高い

それでは何故このようなデータ分析の基盤としてTableauが採用されたのでしょうか。有吉氏は「大きく3つの点が評価されたからではないでしょうか」と語ります。

第1はシンプルで使いやすいことです。従来から存在していた帳票類を簡単に整理でき、直感的にデータを判断できる形に可視化できる上、その操作や分析も容易だと言います。また閲覧ログを見ることで、提供したダッシュボードの中のどのメニューが使われているのかを把握でき、不要なメニューを削除してよりシンプルな形にすることも可能だと指摘します。

第2は様々な事態に対応できることです。エーザイには多様なデータソースがありますが、Tableauはこれらのデータソースから簡単にデータを取り込むことができます。また集計方法や可視化の方法も、標準機能だけで柔軟に変更できます。

そして第3がモバイル化への対応です。「モバイル版のダッシュボードも標準機能で開発でき、サブスクライブ機能で自動的にデータを送信できます。これによって、社外で活動することの多い営業を、強力に支援できます」。

 営業活用MAP


Tableau 導入効果
多様なデータで議論する文化へ

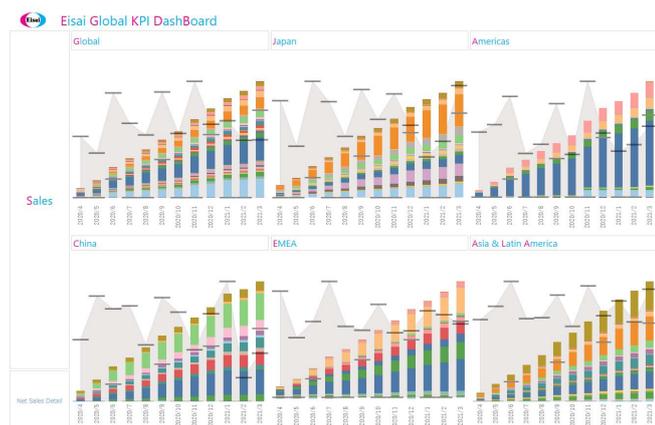
データ分析基盤として Tableau を活用することで、次のようなメリットが得られています。

多様なデータへの柔軟な対応

製薬企業には多種多様なデータが存在し、外部にも様々なリアルワールドデータがあります。Tableau を採用することで、これらのデータを素早く取り込み、分析・可視化できるようになっています。データソースの中には、Salesforce Sales Cloud をライフサイエンス業界向けにカスタマイズして提供されている「Veeva」や、Salesforce MA も含まれています。なお Salesforce MA は、一般消費者向けアプリの配布促進などの目的で活用されています。

データをもとにした議論

以前は事実に基づかない無駄な議論も少なくありませんでしたが、シンプルで使いやすいダッシュボードを提供することで、データをもとにした議論を行うという文化が広がりつつあります。閲覧ログの結果をベースにダッシュボードのシンプル化も進められており、これもデータ活用を拡大する上で、大きな役割を担っています。

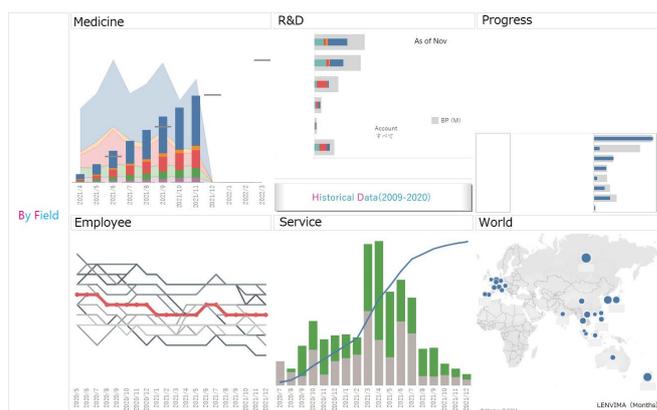

営業効率化

ビジネス面での効果も生まれています。その1つが営業の効率化です。まず営業活動に関する各種ダッシュボードを活用することで、日々の営業活動実績を確認しやすくなり、次の一手につなげることが容易になりました。また実績の予実管理によって、営業活動全体の戦略立案なども行いやすくなっています。

今後の展開について
データで人々に貢献できる仕事

「私自身は Sier からキャリアをスタートし、ゲーム運営や EC ショッピングモール、広告代理店などを経験してきましたが、エーザイに入社してからは医薬品業界で扱われるデータの多様性に驚かされています」と有吉氏。その分析や可視化を Tableau で支援することで、データアーキテクトとしての成長を日々感じていると語ります。

「エーザイのデータ活用はこれからさらに活発化し、より多くのデータ人材が必要になるはず。この業界では、疾患という人々の深い憂慮の解消に貢献でき、さらにエーザイは患者様のベネフィット向上を第一に考える企業であるため、やりがい強く実感することができます。データで社会に貢献したい方は、ぜひその信念をこの業界で生かしていただきたいと思っています」。



無料トライアル版をダウンロードして、ぜひ Tableau をお試しください。

<http://www.tableau.com/ja-jp/trial>

株式会社セールスフォース・ジャパン Tableau (Email: japan@tableau.com)